

科目	単位	時間	履修学年	講師名
薬理学	1	30	1	薬剤師 薬剤師（公益社団法人 地域医療振興協会に委託）
ねらい	薬物治療について理解を深め、看護を実践するために必要な代表的な薬物の特徴、作用機序、副作用、薬物の取り扱いについて学ぶ。			
回数	授業内容			授業方法
1回目（講師）	1. 薬理学総論			講義
2回目（講師）	1) 薬理学とはなにか 2) 薬による病気の治療			講義
3回目（講師）	3) 薬が作用するしくみ（薬力学） 4) 薬の体内の挙動（薬物動態学） 5) 薬物相互作用			講義
	6) 薬効の個人差に影響する因子 7) 薬物使用の有益性と危険性 8) 薬と法律			講義
1回目（講師）	2. 薬理学各論			講義
2回目（講師）	1) 抗感染症薬			講義
3回目（講師）	2) 抗がん薬			講義
4回目（講師）	3) 免疫治療薬			講義
5回目（講師）	4) 抗アレルギー薬・抗炎症薬			講義
6回目（講師）	5) 末梢での神経活動に作用する薬物			講義
7回目（講師）	6) 中枢神経系に作用する薬物			講義
8回目（講師）	7) 心臓・血管系に作用する薬物			講義
9回目（講師）	8) 呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物			講義
10回目（講師）	9) 物質代謝に作用する薬物			講義
	10) 皮膚科用薬・眼科用薬			講義
	11) 救急の際に使用される薬物			
	12) 漢方薬			
	13) 消毒薬			
11回目（講師）	14) 輸液製剤・輸血剤			講義
11.5回目（講師）(45分)	まとめ（45分）			講義
15回目(45分)	終講試験			試験
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進③ 薬理学（医学書院）			
評価方法	筆記試験（1時間 [45分間]：講師・講師合わせて100点）			
備考				

